



# とくしま 県議会だより

第110号【年4回発行】

令和3年8月15日

編集・発行／徳島県議会

〒770-8570 徳島市万代町1丁目1番地

TEL.088-621-3010

FAX.088-655-2530

ホームページアドレス

<https://www.pref.tokushima.lg.jp/gikai/>



## 新型コロナウイルス感染拡大の防止と経済・雇用対策の 両立及び重要課題に切れ目なく対応

### 令和3年5月臨時会の概要

令和3年5月20日、臨時会が招集され、県内飲食店への営業時間短縮要請の再延長等に伴う県民・事業者への支援及び感染拡大抑止を図る緊急対策としての総額67億円の5月補正予算や、時短要請協力金の迅速な支給等に要する危機管理調整費40億円の専決処分などが可決・承認されました。

また、臨時会に先立ち、県土整備委員会及び経済委員会を合計3回開き、新型コロナウイルス感染症への対応や、徳島県飲食関連事業者一時支援金の創設などについて、県の担当者から説明を受け、審議を行いました。



### 6月定例会の概要 会期 令和3年6月21日～7月9日

開会日には、本県の新型コロナウイルス感染状況に応じた感染拡大防止と経済・雇用対策等を盛り込んだ6月補正予算などが提案され、新たな交流拠点の整備などの重要課題について、所信が述べられました。

さらに、6月25日には、新型コロナワクチンの迅速な接種を推進するための補正予算が追加提案されました。

代表・一般質問では、知事の政治姿勢、ワクチン接種の促進、コロナ禍における子ども・親・県内大学生等への支援などの新型コロナウイルス感染症関連施策、とくしま記念オーケストラ事業、徳島文化芸術ホール（仮称）の整備、県立博物館のリニューアルなどに係る文化関連施策、県産材の利用拡大、DXの推進、県内事業者の業と雇用を守る経済対策、認知症の方の社会参加、読書バリアフリーなどについて論議しました。

今定例会では、風力発電に係る「環境影響評価手続の抜本的な見直しを求める意見書」、規則改正1件を議員提出し、可決しました。また、知事提出議案24件を原案どおり可決・同意し、請願1件を採択しました。

### 6月定例会の主な審議の結果

#### ●可決・同意された議案

##### ○令和3年度補正予算

・一般会計（3件）／補正予算額は44億5,389万1千円の増額で、補正後の予算は、5,300億3,960万5千円

・特別会計（1件）

##### ○条例の改正（10件）

・職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正 など

##### ○指定管理者の指定（1件） ○契約案件（3件） ○人事案件（4件）

##### ○その他（3件）

・徳島県議会会議規則の一部改正について（議員提出） など

#### ●可決された意見書（1件）

・環境影響評価手続の抜本的な見直しを求める意見書

#### ●採択された請願（1件）

・新型コロナウイルス感染症に関しPCR検査の検体採取を教職員に当たらせないよう求める請願

提出議案や各議員の表決態度については県議会ホームページに掲載しています。

[徳島県議会 定例会の概要](#)

[検索](#)



## 子ども模擬議会（議会見学会）開催



県議会では、県民の皆様にも、議会に親しみを持っていただけるよう、議事堂の見学会を実施しています。令和2年度からは、小学生向けのメニューを追加し、実際に議場で本会議の模擬体験ができる「子ども模擬議会」を実施しています。

令和3年5月25日・26日、6月4日、徳島市昭和小学校6年生の皆さんが、この「子ども模擬議会」を体験しました。

議会事務局から議会の概要について説明を受けた後、児童が議員役と知事役（県幹部役）に別れ、「県政に関する一般質問」と「採決」を体験しました。

※新型コロナウイルス感染症予防対策のため、クラスごとに別の日程で、手指消毒、マスク着用により実施しました。

### 議会見学会のご案内

議事堂を見学してみませんか。学校の社会見学や地域での学習会などにもご活用ください。電話でお申し込みの上、見学申込書を提出してください。

申込方法等は  
こちら



TEL : 088-621-3010





# 代表質問から

主な質問とこれに対する知事や関係部局の答弁の趣旨は次のとおりです。

知事の答弁 関係部局の答弁

徳島南部自動車道の南伸に向け、さらなる整備加速を



かみひろゆき 嘉見博之 (徳島県議会自由民主党)

**問** 徳島南部自動車道は本年3月、徳島沖洲・徳島津田間が開通した。いよいよ徳島津田以南の整備を加速すべきだが、どのように進めていくのか。

**答** 立江櫛淵・阿南間の供用時期の早期公表や、5か年加速化対策の安定的な予算確保に向けた当初予算での措置を国に強く訴え、一日も早い全線供用に取り組む。

**問** 新型コロナウイルスの次なる感染拡大である第5波にいつ見舞われても不思議でなく、備えが大事である。第4波の教訓を踏まえ、どのような対策を充実強化するのか。

**答** 帰省者への事前PCR検査の開始や、変異株のスクリーニング検査体制の強化を図り、加えてコロナ対応病床や宿泊療養施設をはじめ、万全の医療提供体制を確保する。

**問** コロナ克服への切り札となるワクチン接種が始まり、希望の光が見えてきたところであるが、アフターコロナ時代を見据え、本県経済の再生にどのように取り組むのか。

**答** 5Gの研究開発支援や人材育成による事業創出に加え、企業のGX投資、DX実装の促進や、新たな人の流れの創出に取り組み、活力ある徳島経済の実現を図る。

新型コロナウイルスの変異株による感染拡大抑止への取り組みは



おかだりえ 岡田理絵 (徳島県議会自由民主党)

**問** 強い感染力を持つ変異株を早期に探知することが重要であり、検査体制の充実強化等の対策が急務である。県民の健康と安全を守るため、どのように取り組むのか。

**答** 京阪神からの流入に備え、関西広域連合での連携を強化するほか、様々な変異株を検出するゲノム解析を本県で機動的に行うなど、攻めの検査体制を構築していく。

**問** 成年年齢の引き下げを前に、高校生が成年の自覚を持ち、自立して行動するためには、実社会との接点を重視した学習が必要。高校生の社会に参画する力をどう育成するのか。

**答** 鳴門市の実践校でまちづくりについて調査や討論等を行う、解決策の提案を目指す。また、県内全ての公立高校の生徒会をつなぐ高校生リーダー未来会議を新たに開催する。

**問** 瀬戸内海環境保全特別措置法改正で、海域の状況に応じて窒素やリン等の栄養塩の供給が可能となるこの機に、ノリやワカメの色落ちや不作対策にどう取り組むのか。

**答** 水質モニタリングと併せ、ノリ類を対象に本県独自の施肥技術の実証試験を広域的に展開し、現場実装を加速させる。ワカメの予備試験も実施し、実用化に向け改良を進める。

グリーン社会の実現に向け、地方から取り組みを



しょうのまさひこ 庄野昌彦 (新風とくしま)

**問** 国や自治体等が丸くなって脱炭素化を進めることが大切。県は水素エネルギーなど積極的に導入してきたが、今後、グリーン社会実現に向け、どのように取り組むのか。

**答** 全国初の副生水素による水素サプライチェーンを構築する。12月をめどに脱炭素の基盤となる重点対策を盛り込み、県版脱炭素ロードマップを策定し取り組みを進める。

**問** 本県の養鶏産業や地域経済を守り抜くため、高病原性鳥インフルエンザに対し、より一層の防疫対策強化を早急に図るべき。今シーズンの対策はどのように進めるのか。

**答** 鳥インフルエンザ発生アラートを新たに設定し、早め早めの注意喚起を行うとともに、本県独自のリスク評価に基づく防疫指導の展開など、万全の対策を講じる。

**問** ワークেশンションによる交流から将来的な移住への発展も見据え、アフターコロナに向けた徳島へ人を呼び込む政策について、今後どのように取り組んでいくのか。

**答** 航空会社との人事交流スタッフの人脈やノウハウの活用、コーディネート設置による地域活動のプログラム化等、徳島ならではの「アワーケーション」の推進に取り組む。

子どもを性暴力から守るための教育への取り組みは



とうじょう きょうこ 東条恭子 (新しい県政を創る会)

**問** 本年四月に国が生命の安全教育のための教材を作成した。この教材を活用し、子どもを性暴力の被害者にも加害者にも傍観者にもしないための教育をどう進めていくのか。

**答** 全ての学校の人權教育担当教員を対象に、教材を活用した授業づくりの研修を実施。また、性被害に気付きにくい低学年から授業研究に取り組む、県内に成果の横展開を図る。

**問** 新型コロナウイルスの接種は市町村が実施主体であるが、感染が長期化する中で、接種の要である打ち手の確保が急務となっている。今後どのように取り組むのか。

**答** 市町村の集団接種会場への医療従事者の派遣に加え、県の大規模集団接種会場では、潜在看護師に参画いただいた。引き続き多くの医療従事者が参画できる環境整備を進める。

**問** 男性の育児休業取得を促す改正育児・介護休業法に期待する。人口減少対策としても子育てしやすい職場環境づくりが重要だが、育児休業の取得促進に関する取り組みは。

**答** 県では、男性職員の育児参加を促進する取り組みを重点的に実施。県内企業に対しては、はぐくみ支援企業として認証・表彰し、子育てしやすい雇用環境の整備を推進する。

# 一般質問から

主な質問とこれに対する知事や関係部局の答弁の趣旨は次のとおりです。

知事の答弁 関係部局の答弁

洪水時の住民避難につながるソフト対策の充実を



いかわりゅうじ 井川龍二 (徳島県議会自由民主党)

**問** 豪雨災害が増加する中、鮎喰川中流域や田宮川等の中小河川では洪水浸水想定区域図が未作成。洪水時の住民避難につながるソフト対策の充実に向け、今後どう取り組むのか。

**答** 県管理の中小河川全区间において、今年度から洪水浸水想定図の策定に着手。また、市町村による洪水ハザードマップやファミリータイムラインの作成を支援する。

**問** 公立高校入試の特色選抜は、スポーツへの偏りや選手分散等、課題がある。スポーツ、文化・芸術面で子どものさらなる育成を図るため、特色選抜の改善について検討すべき。

**答** 特色選抜を中心に選抜方法の改善を検討し、今年秋頃に現中学2年生を対象とした令和5年度入学者選抜基本方針を公表。また、全高校で策定したスクール・ポリシーも反映。

**問** 「県内学生とくしまぐらし応援プロジェクト」による生活支援を今後も継続し、将来的な徳島への定住・回帰に資する絆づくりへと発展させるべき。今後の展開は。

**答** 支援を受けた学生に徳島の暮らしに関する情報を発信。移住サポート企業や「とくしま若者回帰アンバサダー」とも連携し、若者の将来的な徳島への定住・回帰につなげる。

地域スポーツ強化に向け、県立学校施設の開放を



すみかずひと 須見一仁 (徳島県議会自由民主党)

**問** 県立学校の施設を使用することは、なかなかハードルが高い。地域のスポーツ団体が活動できるよう、県立学校の体育施設を開放すべきではないか。

**答** 施設の一部を開放している学校に対し、地域開放の仕組みがしっかりと運用されるよう学校内で開放規程の周知徹底を図り、開かれた学校に向けた取り組みを促進する。

**問** コロナの影響が長期化する中、厳しい現状への不安を抱えながらの生活を余儀なくされている交通遺児に対し、新しい生活様式対応型のさらなる支援を迅速に行うべき。

**答** 小・中・高の奨学金受給者全員に一律の給付金を支給する応援一時金制度を創設し、7月中に支給する。新しい生活様式の実践に活用いただきたい。

**問** ヤングケアラーを早期に発見し、必要な支援につなげるには、福祉、介護、医療、教育等関係機関の正しい理解と認識が必要。支援機関への周知・啓発にどう取り組むのか。

**答** 具体的施策の展開に向け、庁内関係部局によるプロジェクトチームを新たに設置。11月には専門家を招いた研修会を開催し、関わる専門機関が一同に会し、認識を深める。



県として予防接種健康被害  
調査委員会の設置を



たつたよしこ  
達田良子  
(日本共産党)

**問** 新型コロナウイルスワクチン接種で健康被害が生じた場合のワクチン副反応被害者救済制度の体制として、県が予防接種健康被害調査委員会を設置し、市町村の支援をすべき。

**答** 県民が安心して相談できる環境を整え、救済制度の内容や手続き等をしっかり広報するとともに、実施主体である市町村が救済請求に機動的に対応できるよう支援する。

**問** とくしま記念オーケストラ事業について、県側の見積書、請求書の作成や、経費の水増しはなかったのか。知事が指示をしたのではないのか。

**答** 経費は複数の県や楽団と比較検証し、高額でないことを議会に報告したところ。予算・決算は、運営する徳島県文化振興財団で審議され、承認を得たと聞いている。

**問** 県立学校における温水洗浄機能付洋式トイレの整備、手洗い蛇口の自動水栓化について、早急に整備計画を作成し、目標を決めて取り組むべきではないか。

**答** 県立学校長寿命化計画に基づき、温水洗浄機能付洋式トイレの整備を進めている。蛇口の自動水栓化については、今年度は総合寄宿舎を対象に実施することとしている。

コロナ禍における子どもと親の状況を踏まえた支援を



いのしたひろのり  
井下泰憲  
(徳島県議会自由民主党)

**問** コロナ禍で子どもや親を取り巻く環境が大きく変わり、うつ症状や虐待が増加するなど深刻な事態となっている。子どもと親の状況について、どう認識し、支援に取り組むのか。

**答** コロナ禍が長期化する中、子育てや生活における不安解消の対策が急務と認識。調査チームによる実態調査を行い、全庁一丸となって迅速かつ包括的な支援に取り組む。

**問** デジタル化をけん引してきた本県の強みを生かし、ローカル5Gを県内全域へ展開し、実装していくことにより、県民が目に見える形でデジタル社会を具現化すべき。

**答** 9月から、三好病院と中央病院をローカル5Gで接続し、8Kスーパーハイビジョン内視鏡による手術映像を共有する全国初の実証事業を開始。未来技術の実装に取り組む。

**問** 国道439号は、観光地に向かう道路や災害時の緊急輸送道路として、非常に重要な役割を担っている。大規模な道路改良が進められている落合工区の開通見通しは。

**答** 国の防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策に加え、5か年加速化対策も最大限に活用。にし阿波の本格的な観光需要回復に貢献できるように来年3月に開通させる。

# 6月定例会委員会の概要

## 常任委員会

## 特別委員会

### ● 総務委員会

**公安委員会関係**では、県内の薬物犯罪情勢、交通安全教育等について、**経営戦略部・監察局関係**では、既存ストックの有効活用、個人県民税の収収等について、**政策創造部関係**では、徳島県過疎地域持続的発展方針案、県内のWi-Fi環境の整備状況について、**未来創生文化部関係**では、徳島文化芸術ホール（仮称）、とくしま記念オーケストラ事業についてなど、それぞれ質疑や提言がありました。

### ● 文教厚生委員会

**教育委員会関係**では、公立高等学校における入学者選抜方法の改善について、通学路の安全対策について、校則の見直しについて、**保健福祉部・病院局関係**では、新型コロナウイルス感染症に関し、ワクチン接種、医療機関・高齢者施設等における検査体制について、このほか次世代シーケンサーの導入、マダニ対策についてなど、それぞれ質疑や提言がありました。

### ● 経済委員会

**農林水産部関係**では、コロナ禍におけるターnteーブルの取り組み、鳥獣被害対策及びジビエ活用について、ため池及び農地への太陽光パネルの設置について、**商工労働観光部関係**では、DX推進のための人材育成について、企業BCPの策定状況及び策定支援に向けた取り組み、もっと！とくしま応援割についてなど、それぞれ質疑や提言がありました。

### ● 県土整備委員会

**企業局関係**では、駐車場事業会計の決算概要、自然エネルギー自給率向上に向けた取り組みについて、**危機管理環境部関係**では、徳島プレミアム生活衛生クーポン、新型コロナウイルス感染症対策の具体的な取組状況について、**県土整備部関係**では、JR牟岐線への新駅設置に係るアンケート調査、吉野川アンダーパスについてなど、それぞれ質疑や提言がありました。

### ● 地方創生対策特別委員会

ターnteーブルに関し、施設運営の状況、ポストコロナを見据えた取り組み等について、質疑がありました。そのほか、農業の人材育成、空き家対策、関係人口拡大への取り組み、地域おこし協力隊の状況、特定地域づくり事業協同組合の概要、テレワークの現状と見直しなどについて、質疑や提言がありました。

### ● 防災・感染症対策特別委員会

土砂災害警戒区域等に関し、県内の指定状況、ハザードマップの周知等、新型コロナウイルスワクチンに関し、大規模集団接種及び職域接種の状況、ワクチンの供給状況等について質疑がありました。そのほか、砂防堰堤の維持・点検、平石山鉱山への土砂搬入、耐震ベッド等の整備、道幅の狭い地域での避難対策、コロナ禍における学校行事等について、質疑や提言がありました。

### ● 消費者・環境対策特別委員会

徳島県水素グリッド構想に関し、水素の安全性や今後の事業展開など、県版脱炭素ロードマップの策定状況、プラスチックごみの発生抑制について質疑がありました。そのほか、野生鳥獣による農林水産業被害や有害鳥獣の生息状況、県管理河川の環境保全、学校における水教育、エシカル消費の取り組み状況などについて、質疑や提言がありました。

### ● 次世代育成・少子高齢化対策特別委員会

保育所等入所待機児童数に係る要因や今後の展望、福祉系高校修学資金貸付事業について質疑がありました。そのほか、子どもの交通事故対策としての各種取り組み、市町村での産前産後サポートの状況、医療的ケア児支援センター、認知症の疑いのある行方不明者、ヤングケアラーに対する今後の取り組みなどについて質疑や提言がありました。

## 用語解説

#### ※1 【GX投資】

GX（グリーントランスフォーメーション）とは、温室効果ガスを発生させない再生可能エネルギーへの転換など、地球環境の保全に向けた産業構造や社会経済の変革を促進し、成長につなげること。GX投資はそういった分野へ投資すること。

#### ※2 【DX】

デジタルトランスフォーメーション。デジタル技術の浸透により、既存の価値観や枠組みを変革していくこと。

#### ※3 【副生水素】

苛性ソーダ製造過程などにおいて生成される水素のこと。

#### ※4 【ワーケーション】

仕事（Work）と休暇（Vacation）を組み合わせた造語で、テレワーク等を活用し、普段の職場や居住地から離れ、地域などで仕事をしながら、休暇の時間を組み合わせること。徳島ならではのワーケーションを「アワーケーション」として推進している。

#### ※5 【ファミリータイムライン】

住民（家族等）が、台風の接近などによって河川の水位が上昇する時に、自分自身がとる標準的な防災行動を時系列的に整理し、とりまとめたもの。「逃げ遅れゼロ」に向けた効果が期待される。

#### ※6 【スクール・ポリシー】

各公立高等学校等における教育活動の指針となる3つの方針で、育成をめざす資質・能力に関する方針、教育課程に関する方針（特色ある教育課程）、入学者の受入れに関する方針（志願してほしい生徒像）。

#### ※7 【ヤングケアラー】

本来大人が担うと想定されている家事や家族の世話、介護、感情面のサポートなどを日常的に行っている18歳未満の子どもをいう。

#### ※8 【ローカル5G】

携帯電話事業者による一般向け5Gサービスとは別に、地域や産業の個別ニーズに応じて地域の企業や自治体等が、自らの建物内や敷地内でスポット的に柔軟に構築可能な5Gネットワーク。

#### ※9 【次世代シーケンサー】

新型コロナウイルスの遺伝配列を高速で網羅的に解読できる機器。



# 議場紹介

本会議はここで行っています

県議会は、県庁舎の東隣にある議事堂で会議をしています。  
本会議を行う場所を「議場」と言い、議事堂の3階にあります。  
また、本会議を直接見ることが出来る傍聴席は、4階にあります。



傍聴席から見た議場



議長席から見た議場

壁にはすだちの花をあしらった藍染めクロスを用い、天井の照明は鳴門の渦潮をモチーフにするなど徳島ならではの装飾がなされています。



## 1 議長席

ここに議長が座って、会議を進めます。

## 2 演壇

議員が質問したり、知事や県のそれぞれの仕事をする代表（県幹部）が説明したりするところです。

## 3 議席

県議会議員が座ります。座る席は決まっています。

## 4 議会事務局長席

議長の補佐をする、議会事務局長が座ります。

## 5 理事者席

知事をはじめ、県幹部が座ります。

## 6 記者席

会議の様子を取材するテレビや新聞の記者のための席です。

## 7 傍聴席

傍聴といって、議会の様子を直接見る方のための席で、記者席・傍聴席を合わせて185席あります。車いすの方の席も4席あります。

## 本会議のインターネット中継「YouTube」で配信!!

県議会のホームページでは、本会議の様態を生中継及び録画配信していますが、令和3年6月定例会からは、インターネット動画配信サイト「YouTube」(ユーチューブ)を利用して配信することになりました。

県議会ホームページからはもちろん、YouTubeからも検索可能ですので、是非「徳島県議会公式チャンネル」をご覧ください。



YouTube  
徳島県議会公式チャンネル



徳島県議会  
公式チャンネルはこちら

- インターネット中継は、パソコンのほか、スマートフォンやタブレット端末でご覧いただけます。
- 本会議開会中の生中継だけでなく、過去4年分の録画映像も視聴できます。
- 代表・一般質問の前日に、質問項目と要旨(予定)を県議会ホームページに掲載しています。



## 県議会だより「録音版」「点字版」を発行しています

県議会では、目の不自由な方に、県議会の活動をより知っていただくため、「県議会だより」の録音版(カセット・CD)・点字版を発行しています。

ご希望の方は、次のところへご連絡ください。

### 連絡先

障がい者交流プラザ 視聴覚障がい者支援センター  
TEL: 088-631-1400

なお、県議会ホームページに、県議会だよりのPDF版に加え、音声版も掲載していますので、ご利用ください。

## 県議会の見学者等

- 福島小学校(徳島市)
- 藍住町手をつなぐ育成会

## 議会日程

※日程は予定であり、変更する場合があります。また、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、「本会議の傍聴」及び「委員会の視聴」の自粛をお願いする場合があります。

令和3年9月  
定例会の日程

- 9月6日…………… 常任委員会
- 9月8,9日…………… 特別委員会
- 9月10日…………… 本会議(開会)
- 9月16日…………… 本会議(代表・一般質問)
- 9月17日…………… 本会議(一般質問)
- 9月22, 24, 27, 28日… 常任委員会
- 9月29, 30日…………… 特別委員会
- 10月5日…………… 本会議(閉会)

## 議会クイズ

正解者の中から抽選で10名様に、「徳島県産あきさかり」(5kg)をプレゼントいたします。



議員全員で行う会議を「本会議」といいますが、本会議を行うのは議事堂内の何という場所でしょうか。

- ①大会議室 ②委員会室 ③議場

ヒントは紙面上にあります!

- 応募方法: はがき、電子メール又はファクシミリでクイズの答え、住所、氏名、電話番号、「とくしま県議会だより」についての感想を記入の上、次の宛先までお送りください。  
※ご応募は、お一人につき1通までとさせていただきます。
  - 応募先: 〒770-8570(住所記入不要)  
徳島県議会事務局 政策調査課  
メールアドレス: tokushimakengikaidayori@pref.tokushima.jp  
※メールアドレスが新しくなりました。  
ファクシミリ: 088-655-2530
  - 締切: 令和3年9月30日(木) 消印有効  
(当選者の発表は、賞品の発送をもって代えさせていただきます。)
- ※お寄せいただいた個人情報は、プレゼントの送付とそれに係る業務のみに利用します。

## 徳島県産あきさかり(5kg)

稲穂を持つ「すだちくん」が目印! 徳島県の奨励品種のお米で、ほどよい粘りとほのかな甘みが特徴です。おにぎりや炊き込みごはんにするとふっくらとしておいしくいただけます。



10名様にプレゼント

【提供】  
全国農業協同組合連合会  
徳島県本部